

令和4年度全道ホームヘルプサービス研究大会 開催要綱

主催：北海道ホームヘルプサービス協議会 / 後援：北海道

1 開催趣旨

昨今の法改正において「地域包括ケアシステム」の構築に向けた取り組みが進められる中、介護を必要とする方々の地域生活を支えるホームヘルプサービスには大きな期待が寄せられるとともに、その役割はますます重要となっています。一方で、各事業所では、深刻な人材不足などの経営課題が山積しています。

そこで、本研修では、在宅介護の現場でより良いサービスを展開するために必要な知識と技術の向上を図ることを目的に開催します。

2 開催日時

令和4年7月12日（火） 14:00～16:20（受付13:10）

令和4年7月13日（水） 9:30～11:35（受付 9:00）

3 開催場所

かでの2. 7 4階 大会議室 他（札幌市中央区北2条西7丁目1番地）

4 参加定員

100名程度

5 参加対象

ホームヘルプサービス従事者等

6 参加費

・北海道ホームヘルプサービス協議会会員・準会員 3,000円

・上記以外の方 6,000円

※参加費は当日受付でお支払い願います。

6 日程

	13:10	14:00	14:10	15:10	15:20	16:20	16:30	17:30
7月12日 (1日目)	受付	開会	基調講演	休憩	座談会	休憩	総会	
9:30								
13日 (2日目)		分科会	閉会					

7 内 容 [1日目：7月12日(火)]

14:00 ~ 14:10	<p>(1) 開 会 (10分) 開会挨拶 北海道ホームヘルプサービス協議会 会長</p>
14:10~ 15:10	<p>(2) 基調講演「今後の訪問介護事業所を考える」</p> <p>社会保障審議会における議論や、浜銀総合研究所の調査結果等をお話いただくことで、今後の訪問介護事業所のあり方について、学んでいきます。</p> <p>講師：稲葉 好晴 氏（独立行政法人 福祉医療機構 福祉医療貸付部長）</p>
15:20~ 16:20	<p>(3) 座談会「今後の訪問介護事業所を考える」</p> <p>ホームヘルプサービスに求められる期待が増えてきていますが、人材不足等様々な課題を抱えています。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大など、ホームヘルプサービスを取り巻く環境も変化してきています。</p> <p>そこで、今回の研修では参加者の事前アンケートをもとに、2つのテーマを設定し、そのテーマを基調講演の内容も含めて、参加者と一緒に意見交換をし、ホームヘルパーに対するイメージチェンジを図り、人材確保につなげていきたいと考えています。</p> <p>テーマ例：人材確保等の訪問介護事業所の課題、運営等</p> <p>登壇者： 稲葉 好晴 氏（独立行政法人 福祉医療機構 福祉医療貸付部長） 佐々木 薫（北海道ホームヘルプサービス協議会会長／ 社会福祉法人刀圭会 ヘルパーステーション向日葵 管理者） 七戸 キヨ子（北海道ホームヘルプサービス協議会副会長／ 株式会社シムス ヘルパーステーションはばたき 取締役事業部長） 山崎 加代子 （北海道ホームヘルプサービス協議会 制度推進委員会委員長／株式会社シムス 専務取締役）</p>

[2日目：7月13日(水)]

(4) 分科会 (9:30~11:30) 【選択制】

第1分科会	<p>講義「これからの自立支援型訪問介護を考える～ICF×介護技術×LIFE～」</p> <p>これから、高齢者がますます増え、サービスの担い手である若者が減っていくことが想定されます。これらの状況を解決するためには、介護が必要になった方にも自分でできることは自分で行なってもらう、そして訪問介護サービスの提供者側においても、自立支援の観点が必要になってくると思います。</p> <p>そこで、今回の研修会では、自立支援を促すために必要な評価であるICF、手段となる介護技術、根拠となるLIFEを副題として、自立支援型のサービス提供に必要なプロセスを考える機会になればと考えています。</p> <p>講師：千葉 恒 氏 （社会福祉法人 北海道社会事業協会 介護老人保健施設ふらのリハビリテーション科 科長）</p>
第2分科会	<p>講義「ホームヘルパーとして知っておきたいHIV/AIDSの基礎知識」</p> <p>HIV感染症は慢性疾患の位置づけとなり長期療養が可能となりました。ホームヘルプサービスに求められる役割がますます増えてきていることから、安心してケアにあたるよう、HIV/AIDSの基礎知識やケアに対して正しい知識を学ぶ機会としたいと考えております。</p> <p>講師：武内 阿味 氏（北海道大学病院 看護部 医科外来ナースセンター）</p>

(5) 閉会 (11:30~11:35) 分科会ごとに閉会

8 参加申込みについて

(1) 申込締切

令和4年7月5日(火)【必着】までにお申込みください。

(2) 申込方法

①Googleフォーム

下記URLまたはQRコードから、申込フォームにアクセスし、必要事項を入力してください。

申込が完了しますと、入力したメールアドレス宛に回答内容を記載したメールが自動送信されますので、御確認ください。

本フォームへの入力完了により、参加申込の受付完了といたします。

URL <https://forms.gle/efUYyqGh6A7sWV1y7>

URLのQRコード



②Eメール・FAX (Googleフォームからの申込みが難しい場合)

別添「参加申込書」に必要事項を御記入いただき、本会Eメール (d-homehelp@dosityakyo.or.jp) またはFAX (011-271-3956) にてお申込みください。

なお、「参加申込書」のWordデータは本会ホームページ (<http://www.do-homehelp.jp>) に掲載しています。

※ 申込み後に内容変更があった場合、下記事務局宛に速やかに御連絡ください。

(3) 留意事項

- ・参加者多数の場合、会員・準会員を優先の上、各事業所1名(申込書上段の記載の方から優先)とさせていただきます。
- ・定員超過もしくは希望の分科会を変更していただく必要がある場合には、別途御連絡いたします。

9 その他

1日目のプログラム終了後、令和4年度北海道ホームヘルプサービス協議会代議員総会を開催します。
なお、総会につきましては、別途会員事業所あてに御案内します。

10 新型コロナウイルス感染症への対応に係る留意点

- ・当日はマスクの着用、会場内での手指消毒に御協力ください。
- ・当日体調不良の方や37.5℃以上の発熱がある方は受講できません。
- ・別紙「研修受講同意書」に記入・持参の上、受付時に提出願います。
- ・定期的に会場の換気を行いますので、体調管理のできる服装でお越しください。
- ・令和4年7月5日時点で新型コロナウイルス感染症拡大により、参集による研修実施が難しいと判断した場合は、別途御連絡いたします。
- ・研修後2週間以内に、新型コロナウイルス感染症への感染が判明した場合は、速やかに本会まで御連絡ください。
- ・参加者等の新型コロナウイルス感染症への感染が判明した場合には、必要に応じて、参加者全員の氏名・連絡先等の情報を保健所等の公的機関に提出しますので、予め御承知おきください。

11 個人情報の取扱いについて

参加申込時にいただいた個人情報は、本研修の運営管理のみに使用いたします。

12 お問い合わせ先

北海道ホームヘルプサービス協議会事務局 (担当: 岡崎・中澤)
北海道社会福祉協議会 地域福祉部地域福祉課
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目1番地
TEL 011-241-3977 FAX 011-271-3956
E-mail d-homehelp@dosityakyo.or.jp
ホームページ <http://www.do-homehelp.jp>